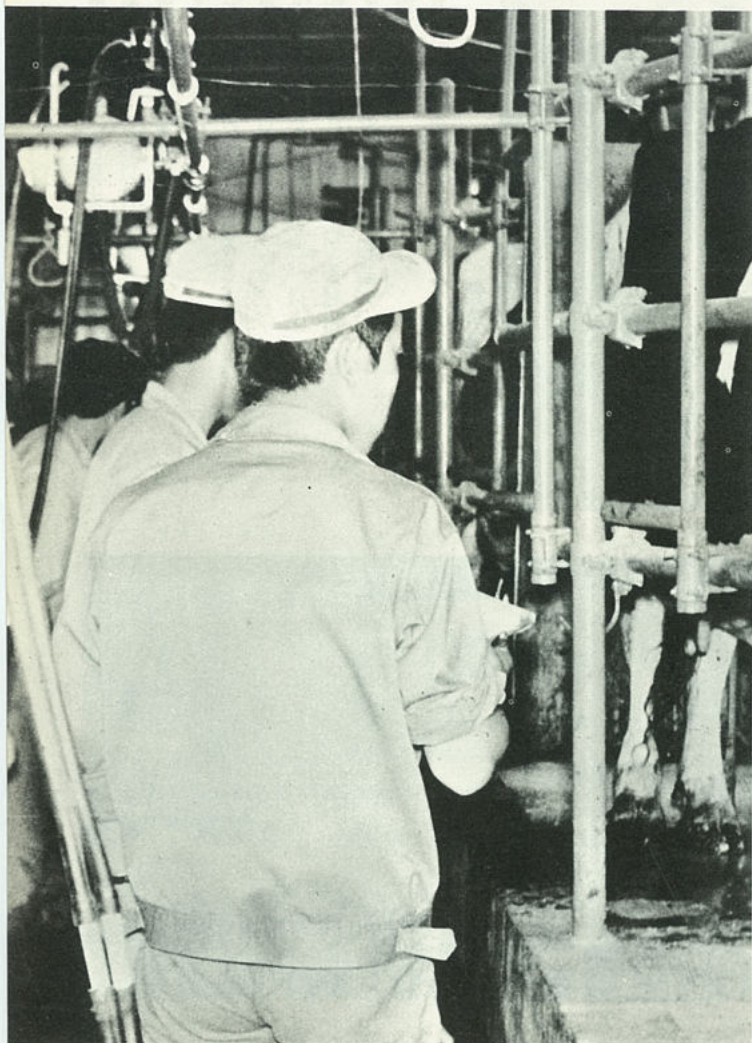




六原農場の酪農実習

県立農業短期大学の開校式



県立農業短期大学校舎。岩手郡滝沢村砂込に設立されたこの校舎は、農林省東北農業試験場、種畜牧場、園芸試験場、林業試験場、県林業試験場、農業試験場、畜産試験場、盛岡農業高校、岩大農学部実習農場などにかこまれています。この地域一帯が本県の農業関係試験研究機関の中心地なので環境絶佳なところにあるといえるでしょう。

農業後継者対策がすめられ、本年度から新しく営農学園が四十五市町村で開かれます。

これは一市町村三十人、四十人の生徒に二年間に四十日間講座を開き主として農業と生活について現地研修などにより新しい農業を体得させようとするものです。

各市町村には、県費十万円が補助され、市町村も同額を支出します。

また、本年度から、機能集団育成事業も行なわれることになりました。

これは、これまでの部落単位の青年活動を機能的に組織しなおし、一市町村三つ位の集団をつくって農業改良普及所が三年間専門的な技術指導をしていくというものです。

こうした営農学園、機能集団育成事業、あるいは、青年建設班などの頂点にあるのが、このほど開設された県立農業短期大学です。

この農業短期大学は、地域農業青年の指導者を養成するのが目的ですが、これに付随して設立された営農青年館でも、営農大学講座等、農村青年・婦人の研修のためのホステルの役割をはたすことになっています。

県は、また、これまでつづけてきた、農業後継者育成資金を本年度も七千六百万円貸し出すことにしていますが、これは農業後継者に一人五十万円まで、無利子、一年据置き、五年均等償還で、必要な資金を融資しようというものです。

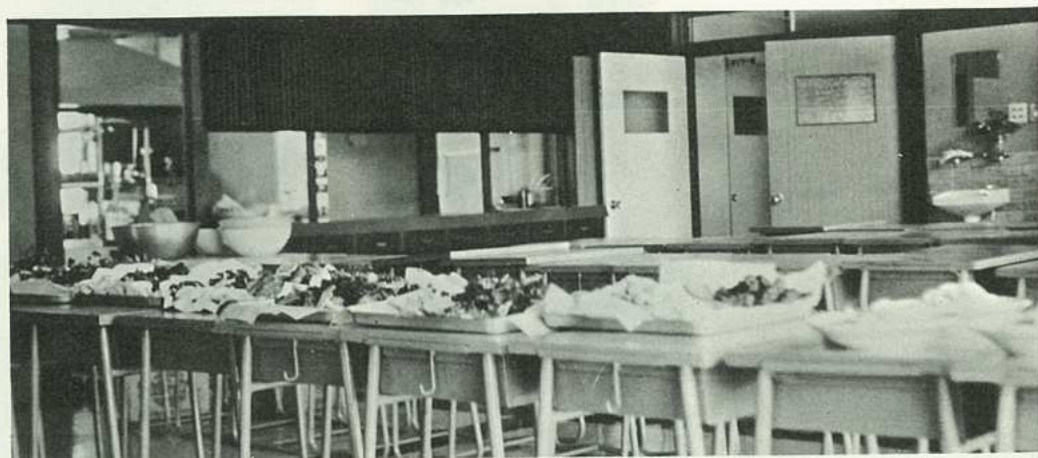
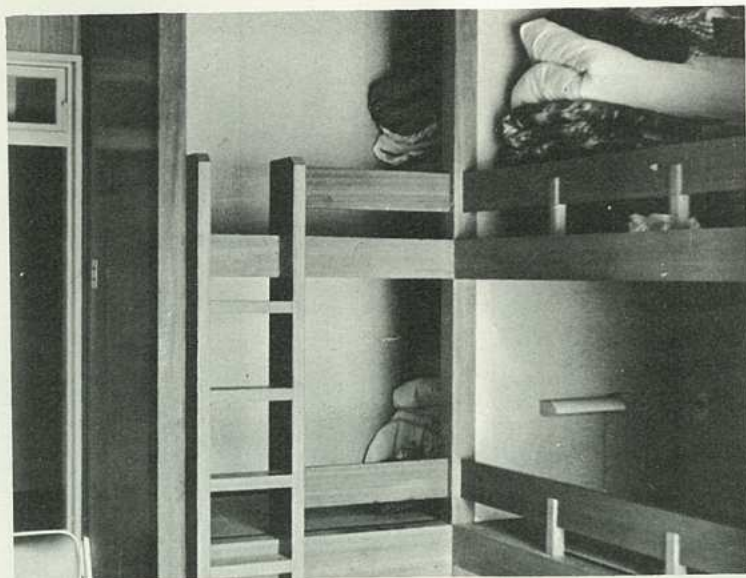
営農青年館は、営農大学講座の開
設の場ですが、これ以外にも、広く
農業青年婦人の研修の場として利用
されます。

二泊三日以上の研修であること。
人員が二十人以上であること。

責任者が明らかであること。以上
の要件が満たされればどなたでも利用
できます。（宿泊六十人、和室六、
洋室四）

一カ月以前に申し込んでください

営農青年館宿泊施設



営農青年館の食堂



営農青年館全景